



20年の変化

診療部長 桐生 一宏

私が初めて職員としてつくしが丘病院を訪れたのは今からちょうど20年前の平成9年の4月でした。青森インスターチェンジを出て三内霊園の近くに病院があると先輩の先生から聞いてはいたのですが、今のようカーナビなどという便利なものがない時代、病院にたどり着くまで何度も道を行ったり来たり迷っていたことを思い出します。つくしが丘病院周辺は桜もきれいで、自然がたくさんあり静かな環境でのんびりと時間が流れていたような気がします。当時は病床が350床もあり、春には運動会、夏には夏祭りやねぶた見物などもあり病院が患者さんたちにとって生活の場としても機能していたような時代でした。

それから20年の間に地域移行の流れが進み全国的な流れではありますが、当院の患者さんも外来で治療することが増え、病床も減少していきました。病院が以前のような生活の場も兼ねるといったものでなく、純粋な治療の場としての性格が強くなっており、病床が減ったにも関わらず逆に以前より忙しくなったような気がします。

この4月に診療部長としての役割を与えていただきました。自分自身は20年であまり成長していないような気がします（白衣のウエストは12センチ成長しましたが...）しかしいつまでも甘えてばかりはいられないとも思います。全国的な精神医療の動向にも目をくばりつつ、当院で果たすべき役割をみんなで考え協力して成していくことができればと考えています。よろしくお願いいたします。

それから20年の間に地域移行の流れが進み全国的な流れではありますが、当院の患者さんも外来で治療することが増え、病床も減少していきました。病院が以前のような生活の場も兼ねるといったものでなく、純粋な治療の場としての性

つくし つめこみニュース

(平成29年4月1日現在)

外来担当医表		月	火	水	木	金	病棟	病棟		看護師長名
		新患	増谷	庭山	桐生	敦賀		永田(庭山)	A病棟	
	再来	堀内	増谷	庭山	桐生	堀内	構成	B病棟	急性期・児童青年期男女混合 閉鎖病棟	館田 美枝子
		桐生	敦賀	増谷	永田	敦賀				
			応援医師	永田						
	電話対応(午前)	増谷	庭山	桐生	敦賀	永田	成	C病棟	男性 閉鎖病棟	山田 明子

家族教室のご案内

患者さんのご家族を対象に、病気等について講義をし、情報提供をしています。また、ご家族同士のグループワーク（自由参加）では、ご家族が抱えている問題について、お互いに知恵を出し合い解決方法をさがしていきます。日頃様々な不安を抱えて生活されていると思いますが、病気等について知り、共感したり、思いを話したりすることで、ご家族自身も元気になり、自分らしさを取り戻すきっかけにして欲しいと思います。当院に通院・入院している患者さん（認知症以外）のご家族は、**どなたでも参加できます。**事前の申込不要、参加費無料、初めての方も大歓迎です！※詳細につきましては、主治医又は看護師にお尋ねください。

平成29年度 開催日程

- 第1回 平成29年 5月26日(金) 午後1時15分～
講義「精神疾患について」、グループワーク
- 第2回 平成29年 7月28日(金) 午後1時15分～
講義「薬の作用と副作用について」、グループワーク
- 第3回 平成29年 9月30日(土) 午前9時30分(予定)～
講義「(内容を検討中です)」、グループワーク
- 第4回 平成29年11月24日(金) 午後1時15分～
講義「(内容を検討中です)」、グループワーク
- 第5回 平成30年 3月 2日(金) 午後1時15分～
家族体験談・交流会を予定しています

ニューフェイス 転入者紹介

検査室

主査 中村 輝世



県病から異動してきました。生理検査は約10年ぶりなので、緊張感いっぱいです。皆さんよろしくお願いします。

薬局

技師 鈴木 亜梨沙



県病から来ました薬局の鈴木です。つくしは新しく綺麗で良い環境だなと思います。個人的には連絡通路を歩くのが好きです。よろしくお願いします。

C病棟 看護師

主任看護師 平山 玲子



県病から異動してきました。新棟で勤務するのは初めてです。これからよろしくお願いします。

庶務・管理課

主事 奈良岡 文嗣



初の病院勤務です。皆様よろしくお願いします。甘い物とラーメンが好物です。

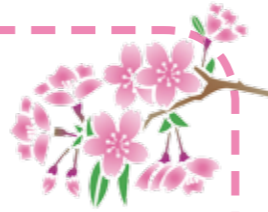
院内紹介 【外来スタッフ】

4月より、看護師の外来スタッフが一新し、7名体制で看護させていただきます。経験の豊富なスタッフが揃い、更に看護力がパワーアップしました。

精神科認定看護師がおり、思春期から認知疾患まで幅広く対応しています。困りごとや悩みごとがありましたら相談して頂ければ解決に向けて一緒に考え、良い方向へ進んでいけるよう支援していきたくと思います。外来看護師が訪問看護に同行し、自宅や施設で生活できるよう家族や施設スタッフと情報交換しながらサポートしています。何らかの問題が発生した場合は、医師と連絡を取り合い、問題解決できるよう対処方法を伝えています。自立した生活を目指す人にはケースワーカーとの面接を設定し、個人に合った作業所の紹介や年金などの相談を受けています。

また、作業療法士との面接により外来作業やショートケアの内容を説明してもらい、参加することで活動の幅を広げられる様に提案しています。通院・治療が中断している人には、電話などにより受診して頂くよう呼びかけています。薬に対する疑問には薬剤師を紹介し、糖尿病や高血圧などの成人病のある人へは栄養士による相談を紹介しています。診断書に必要な障害の判定や障害と向き合って生活していくためのアドバイスを行う臨床心理士もいます。

このように外来スタッフが一丸となり通院・治療が継続できることを目標とし、種々の社会資源を活用しながら社会の中で生活できるよう、ケースワーカー・臨床心理士・作業療法士・薬剤師・栄養士など多職種と連携を強化しサポートして行きます。



ショートケアでお花見しました！

ショートケア担当作業療法士 佐々木 美香

当院のショートケアでは、季節や参加メンバーの希望による行事や料理を金曜日のプログラムとして実施しています。青森のゴールデンウィークの頃の行事と言えば、お花見！ということで、4月28日(金)に当院駐車場近くの中庭にある5〜6分咲きの桜の木の下でお花見を行いました。事前に参加メンバーでミーティングを開き、お花見の時に食べたいもの、飲みたい



もの、クイズ企画などを決めていたので準備もスムーズで、一人ずつ自分でおにぎりを作ったり、数種類のおかず缶詰を楽しんだり、複数の方々からお菓子の提供もあり好評でした。また、自分の出したい問題を一人ずつ出題するクイズも、予想の斜め上を行う問題もあり爆笑の連続でした。風が強く肌寒かった時間が多かったものの、大変楽しく盛り上がった一日でした！

変なツクシ？

当院の名称は、建設予定地にツクシがたくさん生えていたので、公募候補の中から『つくしが丘』が選ばれ、広報誌の名称もそれに関連して『すぎな』となりました。

スギナはシダ植物トクサ科トクサ属の一種で、どちらが先かは別として、スギナが茂りつくから胞子が放出され日本中で見られます。近緑のトクサは湿地などで見られ、長い緑色の茎の先にツクシに似たものがつくのを見ると同じ仲間だとわかります。もっと稀なものに、イヌドクサ(カワラドクサ)やイヌスギナなどがあります。前者はスギナをもっと大きく長くしたような植物です。後者はスギナとツクシが合体したような姿をしていて、絶滅が危惧されるほど珍しい植物だそうです。見たことありますか？

